

令和5年度 飯塚市グローバル人材育成研修事業



研修報告書



2024. 3. 22~2024. 3. 29



Google本社にて

飯塚市



目 次

研修生・引率者名簿	・・・	1
実施日程	・・・	2
現地研修行程	・・・	3
事前研修の記録	・・・	4
現地研修の記録	・・・	5
研修報告書	・・・	10

※研修生の学年については、令和6年3月31日時点のものです。

研修生・引率者名簿

【研修生20名】

	氏 名		学 年	研修班	備 考
1	安中 美結	あんなか みゆ	中学3年生	1班	
2	石田 恵大	いしだ けいた	中学3年生	2班	
3	岸本 実桜	きしもと みおう	中学3年生	3班	
4	久保田 麻木	くぼた まき	中学2年生	4班	
5	兒嶋 寛治	こじま かんじ	高校2年生	4班	班 長
6	酒井 侑士	さかい ゆうじ	中学2年生	1班	
7	佐久間 凜之輔	さくま りんのすけ	中学3年生	2班	
8	新屋 凜々	しんや りり	中学2年生	3班	
9	西野 佑哉	にし の ゆうや	高校1年生	4班	統 括
10	野見山 晃	のみやま てる	中学3年生	4班	
11	林田 恭妃	はやしだ ゆき	中学2年生	1班	
12	播磨 美宇	はりま みう	中学1年生	2班	
13	古江 沙帆	ふるえ さほ	中学3年生	3班	
14	前田 さくら	まえだ さくら	高校1年生	3班	班 長
15	松永 帆乃	まつなが ほの	高校1年生	2班	班 長
16	松林 くるみ	まつばやし くるみ	高校2年生	1班	班 長
17	宮嶋 優衣	みやじま ゆい	中学2年生	4班	
18	村岡 煌斗	むらおか あきと	中学3年生	1班	
19	森 玲音	もり れいね	中学3年生	2班	
20	渡邊 夏希	わたなべ なつき	中学3年生	3班	

※50音順

【引率者4名】

	氏 名		所 属	役 割
1	兼 丸 義 経	かねまるよしのり	飯塚市経済部 部長	団 長
2	大 丸 裕 子	おおまる ゆうこ	飯塚市立筑穂中学校	生徒指導
3	山 野 靖 也	やまの せいや	飯塚市立飯塚鎮西中学校	生徒指導
4	渡 邊 里 美	わたなべ さとみ	経済部国際政策課	事務局

実施日程

	期 日	場 所	備 考
選 考 会	11月12日(日)	市役所本庁舎	英語筆記、作文、 面接(日本語・英語)
説 明 会 事前研修①	12月10日(日)		渡航説明会 自己紹介 ワークショップ
事前研修②	1月14日(日)		外国人と英会話研修 自己紹介動画撮影 飯塚市歴史資料館(学習)
事前研修③	2月12日(月)		コミュニケーション研修
最終説明会	3月5日(火)		渡航説明会
事前研修④	3月10日(日)		ホストファミリーとの オンライン交流
現 地 研 修	3月22日(金) ～ 3月29日(金)	アメリカ サニーバール市	ホームステイ シリコンバレーツアー 現地学生との交流 (学校登校)など
事後研修①	4月14日(日)	市役所本庁舎	研修の振り返り 報告会に向けての準備
事後研修②	4月28日(日)		
帰国報告会	5月12日(日)	イヅカコミュニティセンター	研修報告

現地研修行程

日付	場 所	スケジュール
3月22日 (金)	市役所本庁舎 福岡空港 羽田空港	出発式 羽田空港へ出発 サンフランシスコ空港へ出発
	サンフランシスコ空港 サニーバール市	着後、サニーバール市へ移動 コミュニティセンターでウェルカムセレモニー ホストファミリーと対面
3月23日 (土)	サニーバール市	ホストファミリーと過ごす
3月24日 (日)	サニーバール市	
3月25日 (月)	サニーバール市	学校登校
3月26日 (火)	サニーバール市	学校登校
3月27日 (水)	サニーバール市近郊	シリコンバレーツアー <ul style="list-style-type: none"> ・ヒューレットパカードガレージ ・スタンフォード大学 ・コンピューター歴史博物館 ・グーグル本社 ・サニーバール歴史資料館 フェアウェルBBQ
3月28日 (木)	サニーバール市 サンフランシスコ空港	サンフランシスコ空港へ 成田空港へ
3月29日 (金)	成田空港 羽田空港 福岡空港 市役所本庁舎	羽田空港へ 福岡空港へ 飯塚市へ 着後、帰国式

事前研修の記録

第1回事前研修 令和5年12月10日(日)



異文化理解ワークショップ



ユリシス先輩からのアドバイス

第2回事前研修 令和6年1月14日(日)



サニーバール姉妹都市協会マーク会長講演



飯塚市歴史資料館において歴史学習

第3回事前研修 令和6年2月12日(月)



飯塚市の外国人の方と英会話の特訓



テーマごとに英語でコミュニケーション練習

第4回事前研修 令和6年3月10日(日)



ホストファミリーとの初めての対面



現地研修の記録

出発式 令和6年3月22日(金)



市長あいさつ



研修生決意表明 児嶋 寛治



ウェルカムセレモニー 令和6年3月22日(金)



サニーバール市長 歓迎のあいさつ

学校登校 令和6年3月25日(月)～26日(火)

サニーバールミドルスクール

コロンビアマドルスクール

ホームステッドハイスクール

フリーモントハイスクール



一日研修 ～ シリコンバレーツアー 令和6年3月27日(水)

HP ガレージ



スタンフォード大学

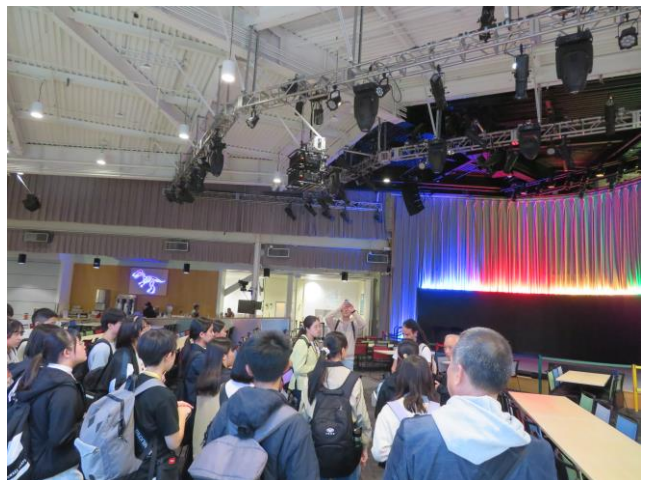


スタンフォード大学の学生によるキャンパスツアー

コンピューター歴史博物館



グーグル本社



サニーバール歴史資料館



フェアウェルBBQ 令和6年3月27日(水)



研修生お礼の言葉 宮嶋 優衣



研修生お礼の言葉 佐久間凛之輔



研修生お礼の言葉 松永 帆乃



研修生お礼の言葉 松林くるみ

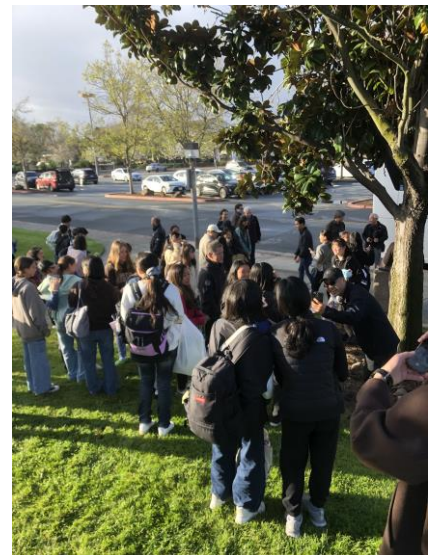


研修生お礼の言葉 前田 さくら



飯塚市代表お礼の言葉 引率者 大丸裕子

ホストファミリーとのお別れ 令和6年3月28日(木)



帰国式 令和6年3月29日(金)



引率者代表あいさつ 山野 靖也



研修生代表あいさつ 西野 佑哉

Plan(計画)

私は積極的にコミュニケーションをとり、自分の意見を英語で伝えることに挑戦したいです。私は積極的に行動することが苦手ですが、この研修ではホストファミリーや学校で出会った人に自分から話しかけられるように頑張ります。そのためにあらかじめ話題になることをまとめ、使えそうなフレーズを練習しようと思います。また、日本とアメリカの生活の違いについて知るために、日本の文化や習慣について改めて勉強します。

Do(実行)

私は積極的にコミュニケーションをとり、自分の意見を伝えるという目標について、ホストファミリーや学校のバディ、バディの友達とは積極的に話すことができました。しかし、大勢でいるとあまり会話に入ることができませんでした。また、文化の違いを知るとい目標について、実際に見て、体験して知ることができたけれど、その違いを教えてあげることができるともっと良かったと思います。

Check(評価)

ホストファミリーやバディと話すごことができたのは、出発前に自分自身のことや自分の周りのことについて話せるように準備していたからだと思います。

しかし、大勢のときは話すスピードも速くて会話の入り方がわかりませんでした。文化の違いを知ることができたのは、事前に日本の文化だけでなくアメリカの文化についても勉強し、現地で確かめるということができたからだと思います。

Action(改善)

話すスピードについていけず大勢の会話に入ることができなかった経験を活かし、オンライン英会話を短時間でも毎日続けられるように時間をつくらうと思います。また、文化の違いを教えることができなかった経験を活かして、いくつか使えそうなフレーズを持っておこうと思います。

現地研修の思い出

緊張から始まったこの研修。ホストファミリーのもとへ向かうバスの中、私は一週間やっていけるのか不安と緊張で心臓がバクバクでした。しかし到着し、Miyu!と駆け寄ってハグしてくれたとき、ずっと緊張が解けるとともに、1週間という短い時間でいろんなことを吸収しようと思いました。

たくさんの思い出がある中でわたしが印象に残っていることは2つあります。1つ目は家族で行ったサンフランシスコです。サンフランシスコの有名な場所に色々連れて行ってもらい、車の中ではサニーベールやサンフランシスコについて教えてくれて会話も弾み、この1日で更に仲良くなりました。皆でアイスを食べているときに初めは少し遠くに座っていた3歳の弟が途中でずっと隣に座ってくれたとき本当に嬉しくて可愛かったです。2つ目は学校登校です。授業で体育館に集まった時に女の子たちが話しかけてくれて名刺とお菓子をすごく喜んでくれたことです。廊下ですれ違った時に名前を呼んでもらえたときは嬉しくて涙が出そうになりました。

私はこの研修で大きく3つのことを得られたと思います。それは、もっと会話ができるようになりたいという目標、いつかこんなところに住みたいという夢そして、一生関係を続けたいと思えるホストファミリーです。私にとって一生忘れられない経験となりました。もっと勉強し成長した姿でまたサニーベールに戻って来たいです。



Pickett Family



中学 3年生

いしだ けいた
石田 恵大

Plan(計画)

アメリカの学校で勉強することを経験したいです。その理由は、アメリカの学校は日本の学校に比べて、色んな国やバックグラウンドを持った生徒がたくさんいるので色々な意見や考えを身に付けられると思うからです。

その経験をよりよいものにするために、出発までに、英語の勉強はもちろん、日本の文化についても勉強したいです。

Do(実行)

アメリカの学校を楽しむ目標について、行く前までに英語の勉強を頑張っていたので授業内容をほとんど理解することができました。日本の文化を伝えるという目標も事前研修内や個人的に調べていたのでホストファミリーや友達たちにも伝えることができました。さらに、アメリカの学校には多種多様なバックグラウンドを持った人たちがいたので、彼らの国や文化についても質問をしてたくさんの新しいことを学ぶことができました。

Check(評価)

ホストファミリーに日本の文化を伝えることができたのは以前ホームステイを受け入れたときにその子が自分の国やバックグラウンドを伝えるのを見ていたからだと思います。その子が話していた様子をイメージしながら話していました。また、学校でたくさんの人とコミュニケーションできたのは英語の勉強を通してマナーやモラルを身につけていたため人やシチュエーションに合わせて会話をする事ができたと思います。

Action(改善)

マナーやモラルを持ち、シチュエーションに合わせて会話をする事ができた経験を活かして、色々な国、地域の人々と関わり国際関係を保つ、発展させる事に貢献できるような分野で活躍したいです。そのためには個人的にその国の人々が話す言語を理解することがその国の人々を理解することにつながると思うので言語の勉強を頑張りたいです。

現地研修の思い出

着いてすぐに思った事はサニーベール市には至る所に広くてきれいな公園があり想像していた景色ということです。土曜日の午後に僕とホストブラザーでRancho という場所にハイキングに行きました。たくさんの人々がウォーキングやハイキングをしていて健康的だなと思いました。野生のリスやシカなどを見ることもできて楽しかったです。

その日の夜にメキシコ料理店に行きました。タコスといくつかのメキシコ料理を食べました。料理の中にSerrano pepper というとても辛い野菜があつて試してみましたがとても辛くて涙を抑えるのに何杯ものドリンクが必要でした。ホストファミリーはそんなに辛くないと言ってパクパク食べていて衝撃でした。

火曜日にはホストファザーと一緒にボクシングジムに行きました。今まで一度も行ったことがなかったのですがその人達は優しくとてもフレンドリーで楽しい時間を過ごしました。

この3つが僕のお気に入りの思い出ですが他にもたくさんの楽しい経験をしました。ホストファミリーには色々なことをさせてくれて感謝しています。



Dalal Family



中学校 3年生

きしもと みおう
岸本 実桜

Plan(計画)

私は物事を多角的に考えることが苦手です。どうしても自分の常識で考えてしまいます。だからサニーベールでは私は、生活、建物、考え方の3つについて日本との違いに触れてみたいと思っています。たしかに、インターネットで調べればいくらでもわかるかもしれませんが、しかし、私は本物に触れる体験を大切にしています。サニーベールで本物に触れて自分のあたりまえを覆し、物事を多角的に考えられるようにすることが私の目標です。

Do(実行)

目標にしていた、自分のあたりまえを覆し、物事を多角的に考えられるようになることを私は達成できたと思います。Googleを訪問した際、私の、会社に対するイメージが崩れました。自分から上司に意見を述べたり少数の声を実現したりと日本とあまりに違って驚くことばかりでした。そうして1人1人が自分の意見を持って仕事に取り組むことで、サニーベールでは常に新しいものを生み出しているのだと感じました。

Check(評価)

サニーベールで、自分のあたりまえを覆すことができた理由は主に2つあると思います。1つ目は、出発前に日本について調べていたことです。日本についてよく知ったことが日本とアメリカの違いに気づく上でとても役立ちました。2つ目は、私がこの研修を満喫したことです。見える景色、聞こえる音、嗅いだ匂いなど、全身でアメリカを感じ、日本との違いにたくさん気づくことができました。

Action(改善)

サニーベールでの経験を、何か1つの難しい問題について考えるときに活かしたいです。たとえば、学校で応用問題を解いているとき、SDGsについて考えているときなどです。考えていて行き詰まってしまったら、1歩引いて新たな視野で多角的に考えることで、別の道を開き出せると思います。

現地研修の思い出

私はこの1週間の研修で特に思い出に残っていることは、ホストファミリーとお出かけたことです。まず海に行きました。これは私の知っている海ではありませんでした。どこまでも続く海岸。大きな貝殻が落ちている砂浜。私はここがすごく好きだなと感じました。そこでエミリーから貝殻をもらいました。今も大切に保管しています。その次はハイキングをしました。海のそばにある、なだらかな山を歩きました。一度降りて休憩したときエミリーが砂浜に「Miou」と書いてくれてとても嬉しかったのを覚えています。私も「Emily」と書いて笑い合いました。そこからぐんと距離が縮まったような気がします。ハイキングを再開して最終的に海とゴールドゲートブリッジが見える場所に着きました。青と赤のコントラストがとてもきれいでこの景色が見れて本当によかったと感じました。その次はパレスオブファインアーツに行きました。建物を一通り見て車に戻ろうとしたとき、なんとダブルレインボーが見えました。私は人生で初めて見たので、本当に嬉しくてそれだけで幸せな気分になりました。その後はPier39に行って海の上のデッキでアルカトラズ島を見ました。そのときはちょうど夕方で夕日が見えきれいに見えました。本当に楽しかったです。



Guan Family



くぼた
久保田 2年生

まき
久保田 麻木

Plan(計画)

私は現地へ行き、たくさんの人とコミュニケーションをとることに挑戦したいです。そのために自分から積極的に声を掛け緊張していても笑顔で応答することを心がけたいです。それに、自分の意思を英語でしっかり伝えたいです。日本語のない英語だけの世界へ行くので出発までに日常で使う言葉を英語で言えるように努力します。友達をつくり、ホストファミリーとも仲を深め、終始笑顔で生活することを目標にマナーを守り頑張ります。

Do(実行)

現地でたくさんの人とコミュニケーションを取るという目標について、研修前に洋楽を聞いたり日本のおすすめのものを調べたりして話せるネタを作り、それを話すことでコミュニケーションをとることができたと思います。しかし、現地の会話のスピードについていけず、戸惑ってしまうこともありましたが、ジェスチャーを使ったりして自分の意見を伝えることができ良かったと思います。

Check(評価)

自分からホストファミリーや現地の子に話しかけることができたのは、失敗を恐れずに英語を学ぼうという強い意志があったからだと思います。しかし英語があまり伝わらなかったり、英単語が出てこなかったりしたことがあったので、出発前にもっとリスニングをしたり、もっとたくさん英単語を自信を持って言えるぐらい勉強する必要があったと思います。

Action(改善)

私はこの研修をいかして、アメリカの良さや日本の良さを見つけ、自分や周りの人とお互いの良さを伝え生活を豊かにしていきたいと思いました。なので、現地で学んだコミュニケーションの取り方などを日常生活でも使っていきます。自分の意見をしっかり言ったり、失敗を恐れずに何度も何度も失敗して成長していくことを心がけます。またこれからも英語を学び、たくさんの人とのコミュニケーションをとっていきこうと思います。

現地研修の思い出

研修前の私はドキドキしていて、楽しい気持ちが大きくありましたが、私にとって海外は初めての場所で画面越しでしか見たことがない世界だったので、とっても緊張したし、不安な気持ちが大きかったです。しかし、その緊張や不安な気持ちがなくなるくらい、ホストファミリーや周りの人たちの温かさを感じました。私が思う日本とアメリカの大きな差とは、人との接し方や考え方だと思います。ホストファミリーと一緒に昼食を食べに行った時に、ホストファミリーが店員さんに「彼女は日本から来た留学生です。ここに来るのは初めてです。」と言うと、「ワァオ！アイラブジャパン♡」と友達のように接していました。サニーバール中学校へ行ったときには遠く離れているところでもマキ！と大きな声で呼んでくれたり、私がハローと声をかけると日本語でこんにちとは声をかけてくれたりしました。日本では初対面の人とあんまり話そうとしませんが、現地の人は誰でもフレンドリーに話している印象がありました。授業中は寝たりしている人もいましたが、ほとんどの人が先生の問いかけに対し、手を挙げて発表していました。やはりアメリカは「何度も失敗をして成長する」という考え方が普通なのかなと思いました。その素敵な考え方が、日本でももっともっと広まるために私はこの研修で学んだことを友達や家族に伝えていこうと思います。



Berdugo Family



Plan(計画)

私がサニーベールでしたいことは二つあります。

一つ目は、アメリカの授業の様子を知ることです。日本との共通点や違いをはっきりさせるために、出発までに日々の授業を参考にして日本の高校の授業の特徴をまとめます。

二つ目は、ホストファミリーの食文化を知ることです。現地では一緒に食料品を買いに行きたいと思っています。また、私の普段の食事や日本の伝統的な食文化を紹介する練習をします。

Do(実行)

二日間の学校登校を通してアメリカでの授業の様子を知ることができました。全て英語で書かれた問題文に苦戦しながらも、授業内容になんとかついていきました。ただ、パソコンでの個人作業が多く、積極的に参加できない場面もありました。

出されたものは全てトライしてみることでホストファミリーの食文化を知ることができました。また、いなりずしを一緒に作り、少し日本の食文化を紹介することもできました。

Check(評価)

アメリカと日本の授業の違いがわかったことや、授業についていけたことは、今まで日本の学校に通った経験によるものだと思います。周りが個人作業をしているときに、遠慮して声がかかれず時間を持て余してしまうことがありました。それはバディとのコミュニケーション不足によるものだと思います。バディと登校時のバディが違うことは事前にわかっていたのだから、出発前に登校時のバディとも親交を深めておくべきでした。

Action(改善)

学校登校の経験を活かして、これからは今まで以上に人とのコミュニケーションを大切にしていきたいです。一人一人考え方や言葉の使い方は異なるので、意図通りに伝え意図通りに受け取ることは難しいことです。細かな連絡や確認には時間がかかりますが、それ以上にその後の時間を有意義なものにします。面倒くさいと思わずに、また面倒くさいと思われないかと不安がらずに、密なコミュニケーションをしていきたいと思っています。

現地研修の思い出

私がサニーベールに行って一番印象的だったことは、アメリカはとても大きいということです。これは単に面積や食べ物のサイズの話ではなく、文化の話でもあります。面積も大きく、様々な人種の方々が暮らしているのですから、当然多様な文化があります。だから、「アメリカでは」よりも「この地域では」「この家庭では」の方がより合った表現なのだと思います。

私がこのことに気づいたのは現地研修一日目の夜、ハンバーガーショップでのドライブスルーのときです。注文方法が普段と違ったので、私は「日本では……というように頼むけど、アメリカでは……なんだね」と言いました。するとホストマザーが「『この店では』だね。他の店では違う注文方法だよ」と返してくれました。それを聞いて、私はハッとしました。

知らないものに初めて出会ったとき、それをそのものの全体だと思ってしまうことがあります。でも、本当はほんの一部なのかもしれません。そして、その一部で判断してしまうことは他の部分に気づく機会を失ってしまうことです。この世界には多様な人々がいます。その多様な人々と誰もが気持ちよく過ごせる世界を作るためには一部で全部を判断しないこと、そして学校登校の中で度々”Be respectful.”という言葉聞いたように互いに尊重することが大切です。これからの生活の中で、この二つを意識してより良いコミュニケーションにしていこうと思います。



Semanko Family



中学校 2年生

さかい ゆうじ
酒井 侑士

Plan(計画)

僕は、ホームステイや学校でたくさんコミュニケーションを取り、仲を深めるという経験をしたいです。その理由は、英語だけという非日常を思う存分に感じ、視野を広げたいと思ったからです。その経験をよりよいものにするために、出発までに日常英語を覚えることに取り組みたいです。

Do(実行)

僕は、ホストファミリーや学校の人たちとたくさんコミュニケーションを取り、仲を深めるという目標について、今持っている英語を使って、できるだけ伝えたいことは伝えることができました。しかし、相手の話を聞くときは、分からない単語が多く、スピードも速く理解することがあまりできませんでした。

Check(評価)

僕が、ホストファミリーや学校の人とできるだけコミュニケーションがとれたのは、出発前に使える単語や表現を調べて、分からない単語が現地であったら、少しして調べてそこから使っていたからだと思います。また、何か言うとき、言う内容を少し整理してから言うとなんとか伝わるが多かったです。聞くことがゆっくり言ってもらってもあまりできなかったのは、これから勉強が必要だなと思いました。

Action(改善)

このサニーベールの経験を活かして、現地の会話のスピードは速くそれが当たり前なので、それに慣れるように毎日英語を聞くということを習慣にして現地の会話のスピードに慣れるぐらいにしていきたいと思います。

また、好きなこと、やりたいことは周りに流されずにちゃんと主張していくことが大事と思ったので日常生活で意識していきたいです。

現地研修の思い出

僕が、このなにもかもが違う生活を過ごして、思い出がたくさんできました。中でも特に印象深いものが2つあります。

1つ目は、全体的に規模が大きいということです。建物、1日目に食べた、美味しいハンバーガー、アイスクリーム、間食、1日目に行った、ゴールドゲートブリッジ、セコイアの木、湖など全てのものが大きく、そこでアメリカに来たんだという実感がとても湧きました。

2つ目は、学校登校です。ホストファミリーのバディーと一緒に登校して、まず校舎が1階なのに広すぎて2日いても分かりませんでした。そして、1番印象深いのは、とても自由で、いろんな人がいたことです。授業を受けていると、遅刻をして、お菓子を食べていたり、スマホを触っていたりしてそれに先生は何も言っていなかったことです。また、いろんな国から来た人たちが多く、半年前まで日本に住んでいたという人たちもいて久しぶりに日本語を話せて、アメリカの学校というものをしっかり知ることができました。

実際にサニーベールに行ってみて、アメリカは結構日本と違うと分かっているけど、想像以上に文化や生活が違ってました。次アメリカに行くときには、会話をしっかり理解できるように今から英語力をつけていこうと思いました。



Vedant Family



Plan(計画)

私はサニーベールで、友達作りに挑戦したいです。友達作りには積極性が大切だと思います。そのため、学校生活やサニーベールの研修をこれからも積極的に取り組みたいです。

また、アメリカンカルチャーを堪能したいです。普通の旅行では味わえないアメリカの人々の生活をホストファミリーと過ごし、様々なことを経験してみたいです。そのためには、アメリカの文化だけではなく、日本の文化もしっかり学んでおきたいです。

Do(実行)

たくさんの友達を作るという目標を立てていました。事前研修で大きな声で、そして自信を持って話すことの大切さを学んだことで、堂々と話すことができ、沢山のひと友達になり、楽しく会話をすることができました。また、アメリカンカルチャーを堪能するという目標も、ホストファミリーのおもてなしで様々な場所へ行き、様々な食べ物を食べたことで、日本との文化の違いを五感を通して感じ、達成することができました。

Check(評価)

たくさんの友達を作ることができたのは、事前研修でしっかりと基本的な文法を学び、そして現地に行くことでより英語を聞き取る力を鍛え、相手が何を話しているかを理解することができるようになったからだと思います。また、アメリカンカルチャーを堪能できたのは日本の文化をしっかりと学んでいたことで、文化の違いをより理解し、自分自身が様々なこと(特に食べ物)に積極的に挑戦したからだと思います。

Action(改善)

日本には感じることができない多国籍社会のアメリカの文化。様々な考え方の人がいることを普段の生活で実感できるアメリカでの研修の経験を活かして、この世界の様々な文化に興味を持ち、国際人として活躍できるように、そして自分の考えを世界の人達にも発信できるように、英語の勉強はもちろん、日本だけでなく海外の政治や文化にも興味を持ち、考え方に偏りのない視野の広い大人になりたいと思います。

現地研修の思い出

私はこの研修で、ホストファミリーに本当にお世話になりました。私を迎えてくれたディエゴ一家はとにかく明るかったです！歓迎パーティーのときも、どこの一家よりも華やかな飾りつけと演出で雰囲気を盛り上げてくれたり、僕より2つ歳下のテノッチはいつもアメリカンジョークを言ってくれたり、とても楽しかったです。華やかなパーティーも終わり、一段落ついたかと思えば、ディエゴママから一言、「今からディズニーに行くよ」と。僕をディズニーランドがあるアナハイムまで連れて行ってくれました！次の日はロサンゼルス巡り。本当に沢山の人がいて、キャラクターのマスクを被った人がいたり、通りで怪しげな商売をしている人がいたり、多様な社会を感じることができました。無事にロサンゼルスを巡り帰ろうとしたとき、事件も起こりました。車の窓から、急に少年達が水風船を投げ込んできました。車は水浸しになり、なんとも言えない雰囲気の中、お父さんとお母さんが僕に、「悲しい思いをさせてごめんね。この街はとても大きいからね。色んな人達がいるんだよ。」多様な人がいるということは、その中には人を傷つける人だっています。怒りがこみ上げ爆発してもおかしくない中で彼らが言った優しい言葉に、僕はとても感動しました。ディエゴ一家との旅、それはリアルなアメリカの一面、そして温かいディエゴ一家の優しさを知ることができたspecial greatな旅でした。



Ventura Carrera Family



Plan(計画)

私がこの経験を通して学びたいことは積極性です。私は普段、友達や先生などの知っている人とはとても仲良く話しますが、外に出て店員さんや町の人に話しかけることが苦手です。だから、全くお互いを知らない関係から始まるホームステイを通して、自分の慣れない人にも積極的に自分が伝えたいことをしっかり伝えられるようになりたいです。

Do(実行)

私の目標はホストファミリーと積極的に話すことでした。現地につくと緊張がすぐとけてたくさんファミリーと話することができました。アメリカのことをたくさんきいて、英語も教えてもらいました。ファミリーがすごく優しくかったので目標が達成できたと思います。

Check(評価)

私がファミリーと積極的に話すことができたのは緊張していた私にファミリーが優しくたくさん話しかけてくれたからです。すごく緊張していましたが、本当に色々なことを話しかけてくれて私もこの人たちともっと話したい！と思えるようになり、目標を達成することができました。

Action(改善)

私はこの研修を通してもっと流暢に英語が話せるようになって色々な国に行きたいという夢ができました。アメリカはどこを見ても日本では見た事のないものばかりで全てに感動しました。それは景色だけでなく、人と人の関わり方や学校の様子などすべてが日本とは違い感銘を受けました。だから私はもっと英語を話して色々な国で色々な刺激を受けたいと思いました。

現地研修の思い出

私はもともとのホストファミリーがキャンセルになりすごく不安でした。すぐに新しいファミリーが決まりましたが1度も連絡がとれずさらに不安になりました。他のみんなはファミリーとたくさん連絡をとって相手の顔も知っていて、私は相手の顔も何もわからずみんなと違う状況の中でアメリカへ行きました。すごく不安でしたが、恐らく私のホストファミリーもどんな子が来るのだろう？とすごく不安だったと思います。サニーベールについてファミリーに初めて会った時、ファミリーも緊張しただろうにも関わらず、私にとっても優しく接してくれました。私はその瞬間今までずっと抱えていた不安と緊張がすぐにとけました。その後もずっと私にたくさん話しかけてくれたり色々なところに連れて行ってもらったりとたくさんの刺激と経験をさせてくれました。ですが有名な観光地に行った時よりも美味しいご飯を食べたときよりもファミリーみんなで話をしたり笑いながらご飯を食べたりした時の方が何倍も何十倍も楽しかったです。こんな経験をさせてくれたホストファミリーや、お父さんお母さん、引率の先生方にとっても感謝しています。



Deolalika Family



Plan (計画)

僕は、サニーベール市に行って飯塚(日本)とサニーベール(アメリカ)の文化や価値観の違いについて知りたいです。そのために、出発までに日本食や武道などの日本の伝統的な文化や慣習について詳しく学んでおこうと思います。サニーベールでは昔茶道を少し学んだ経験などを生かして、日本独自の文化を現地の人達に披露出来たら良いと思っています。

Do (実行)

日本の文化を外国人に向けて広めたいという目標について、お箸の使い方や茶道のやり方を上手く伝えることが出来ました。アメリカの文化や価値観について知りたいという目標について、現地では理解出来たところもある反面、英語が聞き取れない部分も多数あって深く知ることが出来ませんでした。

Check (評価)

日本の文化を外国人に向けて広めることが出来たのは、日本にいる間にお箸の使い方や茶道のやり方を学んでおいたおかげで上手く伝えることが出来ました。その他にも自分が学校で部活動として行っている弓道のことも学んでおけば、さらにたくさんの日本の文化を伝えることが出来たと考えています。

Action (改善)

サニーベールでの現地研修という貴重な経験や、あらゆることに自分から挑戦していく姿勢などを活かして、これからはその時々最善の行動が何なのかを考えて、自分から行動していけるようになりたいです。また、英語のスキルをもっと磨いて海外の地でもっと学んでみたいです。

現地研修の思い出

僕は今回のサニーベールでの現地研修を通して学んだことがたくさんあります。

何より強く感じたことは、自分のリスニング力の弱さです。日本にいる間に、現地で英語を聞き取ることができるよう練習してきたつもりでした。しかし、実際に現地に行ってみると自分が想像している以上に聞き取ることがとても難しかったです。面と向かって話すとなった時に、瞬時に聞き取りそれに返答することの難しさを身をもって体験しました。

また、自分が当たり前だと思っていたことが全然通用しなかったことも印象的でした。例えば車が左車線であったり、学校の授業は先生の教室に生徒が毎時間移動する形であったことです。日本で暮らす中で生まれた固定概念を様々な場面で打ち砕いてくれる良い機会でした。

ホストファミリーと1週間暮らすことは、不安な面も沢山ありました。緊張していた自分をホストファミリーが暖かく迎え入れてくれてとても嬉しかったです。自分がサニーベールでやってみたかったことや、行ってみたかった場所にもたくさん連れて行ってもらい感謝の気持ちでいっぱいです。茶道を実際にホストファミリーの前でやってみたりお箸の使い方を教えたりなど、日本の文化を伝えることも出来ました。

英語をもっと深く学んで、もう一度ホストファミリーに会いにサニーベールに行きたいし、もっと長い期間海外で生活してみたいです。最高の1週間でした。ありがとうございました。



Capio Family



現地研修の思い出

僕が現地研修で印象に残ったことは二つあります。

一つ目は、アメリカの学校です。全ての学校でそうかは分かりませんが、僕の通っていたホームステッド高校では、授業中にお菓子を食べたり携帯を見たりと自由でした。授業終わりの日本のように挨拶をするのではなく、チャイムが鳴ったら教室を出ると言ったような違いもありました。けれど、いくら自由だからと言っても生徒みんな真面目に授業を受けていたし、ふざけている生徒はいませんでした。なので、自主性が大事だと思いました。

二つ目は、僕の英語量がまだ未熟だということです。僕は特に英語が得意なわけではないのですが、なんとかなるだろうとは思っていました。けれど、現地に行ってみると、会話が早すぎて聞き取れなくて驚きました。その為に、聞き取れない時は翻訳機を使ってしまい家族ともさらさら会話が進みませんでした。この失敗を経て、次に外国に行くときにはスピーキング力を上げていこうと思いました。

今回の現地研修の経験を経て、もしも次にまたホストファミリーと会うことができたなら昔よりも話すことができたらいいと思いました。日本ではアメリカの良さを広めることができたらいいと思います。



Chakravorty Family



Plan(計画)

僕はサニーベールで新しい事に挑戦したいです。そのために、出発までにスピーキングなどの英語力を高めたり、コミュニケーション能力の向上に取り組み、サニーベールではそれを活かして積極的にクラスメートと会話したいと思っています。有名企業の見学に行きたいです。理由は将来に役立つと思うからです。そのために、出発までに企業に関する知識を知っておきたいです。

Do(実行)

僕はサニーベールで今まで経験してないことに挑戦するという目標について、事前研修内で別の形ですが、外国の方ともコミュニケーション力を身につけたことにより、現地の人と積極的にコミュニケーションを取ることができました。

Check(評価)

コミュニケーション力を身につけることができたのは、出発前に事前研修を行ったこともありますが、日常会話に必要な文法を覚えていたことが主な理由だと思います。けれど、学校の生徒の会話などが聞き取れないことがあったので、反省したいです。

Action(改善)

サニーベールでの研修を活かして、これからは日常生活では、前までは積極的に相手と会話していなかったのを、率先してコミュニケーションを取っていこうと思います。ホームステイを受け入れることもあるので、その時は研修の成果を発揮することができたらいいと思います。

中学校 2年生

はやしだ ゆき
林田 恭妃

Plan(計画)

私は現地研修やホームステイ、学校登校などとにかくたくさんの人と会話することを目標に頑張りたいです。そのため出発までに今、オンライン英会話に取り組んでいます。このオンライン英会話を通して現地に行った際に自分の言いたいことをきちんと伝えることが出来るように頑張っています。

Do(実行)

私は現地研修やホームステイ、学校登校などとにかく沢山のひとと話すということを目指して、実際にホストファミリーなどと会話した時に相手の言っていることをきちんと聞き取るということが出来ました。聞き取ることは出来ても自分の思っていることをうまく相手に伝えるということが少し難しかったです。また現地での会話を通して外国の人のコミュニケーション力はすごいなと感じました。

Check(評価)

私が現地で英語を聞き取ることが出来たのは、出発前に毎日オンライン英会話に取り組んでいたからだと思います。ですが、自分の思っていることをきちんと伝えられるようになるには、もっと多くの単語を覚える必要があると感じました。また、出発前に名刺を作成したおかげで交換する時に会話を広げることができ、持っていった全ての名刺を渡すことができた所も良かったと思います。

Action(改善)

私はこの1週間を通して今まで、見たことがない風景や食べ物、日本では有り得ないことを経験できたことは自分の人生の中でとても大きなものになったと思います。

これまで自分が見ていたものや考えていたものとはかけ離れていて自分の視野の狭さを実感しました。これからは自分の世界観だけにとらわれず、もっと世界中のいろんなことに目を向けていきたいと思っています。

現地研修の思い出

約1週間の現地研修で経験した全てのことが初めてでとても貴重なものでした。

1番初めのウェルカムパーティーの会場に行くまでのバスではきちんと英語が伝わるかという不安と初めての環境への緊張でどうなることかと思いましたが、ホストファミリーが暖かく出迎えてくれた瞬間に一気に安心感を感じ、不安も緊張も無くなりました。

私が現地研修で1番深く印象に残った事は、学校登校です。そこで見た全てのものが夢かと思うくらい素敵でした。みんな一人一人が自由で個性を持っていてそこは日本の学校では考えられないことがたくさんあり私にとって天国のような空間でした。

ホストファミリーが休日に連れて行ってくれた遊園地やショッピングモールではまるで自分が映画の中にいるような感覚でした。その中でひとつ気付いた事がありました。それは現金を使っている人がほとんどいないということです。これが日本との大きな違いの1つだと感じました。

また、Googleの本社やスタンフォード大学では今まで考えもしなかったことやいろんな知識を身に付けることができました。

私は今回の研修を通してまだまだ成長出来る部分があると考えさせられました。日本とアメリカとは全く違うものがたくさんあるということに気付かされ、将来私は日本とアメリカを繋ぐ架け橋のような存在になりたいと思いました。貴重な経験をさせてくれた両親や飯塚市の方々には感謝しています。



Westerberg Family



Plan(計画)

私は渡航先で色々な場所に行き、様々な種類の食べ物を食べてみたいです。なぜなら、文化の違いを全身で楽しみたいからです。味の違いは勿論、場の雰囲気や、匂い、国民性の違い等、五感を研ぎ澄ませて沢山の違いを肌で感じたいです。その為に会話力を向上させ、また外国貨幣に慣れておく必要があると思います。他に「〇〇がしたい」や「〇〇に行きたい」等、自分の意見を明確に伝えられるようになっておきたいと考えます。

Do(実行)

私はサニーベールでのホームステイ先では、積極的にホストファミリーに話しかけました。その中で、分からない単語があったり、私の知っている発音とは違ったりして会話が続きにくいことが多くありました。しかし、一生懸命「〇〇に行きたい」や「〇〇はしたくない」等、意見を明確に言うように意識したことで、サニーベールでやりたいことや行きたい場所に行くことが出来たので、とても沢山の思い出を作ることが出来ました。

Check(評価)

ホストファミリーとの会話では、自分の家族や学校の話、飯塚市歴史資料館で学んだこと等を話しました。すると、ホストファミリーも自分たちのことについて沢山教えてくれました。その時は、とても会話が弾みました。そこで気づいたのは、恥ずかしがらずに積極的に話をする事が何よりも大切だということです。また聞くだけでなく、沢山質問することも、「私はあなたに興味がある」という意思表示になるのではないかと感じました。

Action(改善)

このホームステイでは、英語の難しさを身に染みて実感しました。分かるはずの簡単な単語でも少しスピードが速くなっただけで分からなくなり、また全く知らない単語やイディオムも沢山ありました。この経験を活かして、私はこれからも英語の学習に力を入れていこうと思います。私は将来、海外で困っている人を助けたいと思っています。漠然とした夢ですが、必ず英語が必要な職業なので、めげずに頑張っていきたいと思っています。

現地研修の思い出

今回の研修では、本当に沢山の思い出ができました。今回の渡航は私にとって初めての海外で、コミュニケーションが図れるかとても心配でした。しかし、ホストマザーやホストシスターがハグをしながら「Welcome to Sunnyvale!」と言ってくれて、とてもホッとしたのを覚えています。その一方で、緊張して自分が言いたいことを全く言えず、生活スタイルも全く違い、夜には大きな不安を感じて涙が溢れました。

次の日に私達はサニーベールを散策しました。マーフィーアベニューや、ボバティーというタピオカ屋さんに行きました。その後ショッピングモールで沢山の土産を買いました。2日目はやはり言語の壁はありましたが、沢山自分のことについて話し、ホストファミリーについても沢山知ることが出来ました。

3日目にはサンフランシスコに行き、ゴールデンゲートブリッジやピア39に行きました。様々な場所を見ながら、サンフランシスコの歴史などをホストマザーに教えてもらいました。3日目を過ぎると、緊張せずに話せるようになっていきました。特にこの3日間を通して気づいたことは、相手に何かしてもらおうのを待つばかりではいけないということです。積極的な会話や、沢山の質問をすると1日が充実したものになるということが分かりました。

別れの際に、ホストファミリーが「また来てね」と言ってくれたので、今度はもっと成長した姿を見せたいと思います。



Hayes family



Plan(計画)

アメリカでの友達づくりに挑戦したいです。そのために、出発までに英語で日常会話ができるように英会話に取り組み、サニーベールではそれをいかしている人々と会話したいと思っています。アメリカでの買い物を体験したいです。その理由は、日本と異なる商品の表示を見てみたいからです。その経験をよりよいものにするために、出発までに、英語の読解力の向上に取り組みたいです。

Do(実行)

アメリカで友達づくりに挑戦するという目標について、事前研修内で簡単な英会話を身につけたことにより、簡単な会話をして友達を作ることができました。しかし、そこからもっと話をしようとするとうまく話せなかったり、授業であまり発言できませんでした。また、アメリカでの買い物を体験するという目標によって、日本と違うアメリカの商品表示を知ることができました。

Check(評価)

友達を作ることが出来たのは、出発前に英会話を学び、名刺を作っておいた事が主な理由だと思います。しかし、他にももっと会話のバリエーションや知っている単語を増やしたり、英語を話すことにいっぱいにならずに周りを見れる視野を持っていたり、話しかけるのを待つのではなく、積極的に話しかける様に努めたりすれば、もっといろいろな人とたくさんのお話が出来たと思います。

Action(改善)

私は学校登校の経験から、日常生活を送るなかで積極的に行動や発言をしたり、一度落ちていて周りを見る冷静さや広い視野を持つことを目標に行動していきたいと思っています。

また、スタンフォード大学やGoogle にいった経験から、海外の大学に興味を持ち、コンピュータなどの次々と変化し続けたり、世界中で必要とされる分野で活躍できる様に常に学び続け自分を変えていきたいと思っています。

現地研修の思い出

サニーベールには、様々な大企業があったり、車のスピードが速かったり、日本との違いを実感しました。頭ではわかっているけど実際に現地に行くことで新たな驚きを得ることができました。土日に、ホストファミリーは Farmer's Market や水族館、Great America ターゲットに連れて行って週末を満喫できました。初めて食べたベーグルは、今まで食べたことが無かったことを後悔するほど美味しかったです。学校登校では制服がなくピアスをしていたり、授業中に立ち話したり、お菓子を食べていたり、授業では電子機器を使い、生徒が積極的に発言したりしていました。このように、ICTの積極的な使用、発言を冷やかさない、自由な雰囲気のアメリの学校が日本よりも好きです。放課後には、他のホストファミリーと交流できました。遊びに行った公園は広い土地に大きな木や様々なスポーツの広場、遊具などが集まっています。シリコンバレーツアーではスタンフォード大学の見学で、この大学も自分の進路の選択肢として選べるようになりたいと思いました。またGoogle では変化を恐れずに自分を変え続けることの大切さや自分のアイデアを実現させようと挑戦する事、今スマートでなくてもスマートになっていくことが大切だとわかりました。他にも、ホストファミリーと生活する中で見つけた食生活や生活習慣の違いに驚きました。



Ballantyne Family



まえだ
高校 1年生 前田 さくら

Plan(計画)

私は、今まで3回ホームステイを受け入れた経験があります。せっかく受け入れているにも関わらず、ほとんど自分から話したことがありません。そんな自分を変えるためにも、今回の研修では自分から積極的に話すようにしたいと思います。私が話しかけられない理由として、失敗することへの後ろめたさがあります。研修から帰ってきた際には、失敗を恐れず、なんでも積極的に行動できる高校生として帰ってきたいです。

Do(実行)

私は今回の研修で積極的に話しかけることを目標としていました。研修の中では、ホストファミリーに話しかけたり、自らレストランで注文してみたり、今までの私とは違う、積極的な態度で約1週間を過ごすことが出来ました。研修前は失敗を恐れて、積極的になれない私でしたが、失敗もしっかりフォローしてくれるホストファミリーに出会えて自分を変えることが出来ました。いい経験がたくさんできました。

Check(評価)

私が積極的に行動できたのは、今回の研修での目標を「積極的」という点に絞っていたことです。私は複数の目標をこなすという器用さを持っていなかったり、目標が複数あると目標にとらわれて、自分のやりたいことができなくなったりすることは、研修前に分かっていたことだったので、1個に絞っていました。このおかげで、目標にとらわれず、自分のやりたいことや、楽しみだった学校で全力で楽しみ、学ぶことが出来たと思います。

Action(改善)

今回の研修では、前述してきたように積極性を大事にし、たくさんのお話を経験してきました。積極的な行動はこれからの学校生活に活かしていきます。高校は全て自分たちの行動次第で学校行事が動きます。今年は学校行事を運営することが多い学年だからこそ、積極的な行動をしていきたいです。また、積極的な行動もですが、「挑戦する」という姿勢を持って何事にも取り組む大切さを学びました。これからも挑戦し続けます。

現地研修の思い出

私は日本では経験出来ないことをたくさん経験出来ました。たくさんありますが、今回は2つの話をしたいと思います。

まず、1つ目は学校登校です。学校には自転車で登校しました。私は普段電車で学校に通うため、朝からの自転車はとてもハードでした。ですが、サニーベールの街並みを見ながら、普段は乗らない自転車でバディの子と坂道を登ったのは良い思い出です。学校では同じクラスにいる子達がたくさん話しかけてくれたり、私からも話しかけたりして、日本とアメリカの学校の違いを話しました。バディが日本語の授業を選択していて、一緒に授業を受けました。日本に興味を持っている子がたくさんいてとても嬉しかったです。日本のことを話す良い機会にもなりました。

そして、2つ目はGoogle本社の見学です。Googleらしさ全開のロビーにとっても感動しました。Googleの造りは社員のことを第1に考えられたものだと思います。私の夢は医者なので、このような考えが必要になるのかは分かりませんが、自分が医者になることができ、開業できた際には、必ず大切になる患者さんのことを第1に考える造りにしたいなと思いました。夢への具体的な1歩を進められてとても大きな成長になりました。

私はまだ何も知らない高校生ですが、そんな高校生だからこそ、全て新しいものとして捉えることができ、良い経験になりました。



Yeatman Family



高校 1年生

まつなが ほの
松永 帆乃

Plan(計画)

私はサニーベール市での研修で、幅広く色々な事に積極的にチャレンジしてみたいです。その理由は、アメリカは多国籍文化でたくさんの国の考え方や文化が共存しているからです。アメリカはもちろん、世界中の国についても学ぶことができます。そのためには、自分の意見を言えるように最低限の英語力と、積極性を身に付けたいです。

Do(実行)

Planで、何事にも挑戦したいという目標を立てていました。事前研修内で英語力はもちろん、学年・学校が異なる人たちと対話することでコミュニケーション能力、そして自ら発表していくことで自分の考えを表現する力を身につけました。そのためサニーベールでの研修中では、自分のやりたいことはやりたいと意思表示をし、たくさんの人に自分から積極的に話しかけることができました。

Check(評価)

自分のやりたいことの意味表示ができたのは、出発前に考えを発表する機会があったり、JTBの方や市役所の方からアドバイスしていただいたことが主な理由だと思います。しかし、そのほかにももっと英語特にリスニングを勉強していれば、サニーベールの人の日常のスピードが早い会話についていくことができたと考えます。

Action(改善)

海外の人は、自分の意思をはっきりと伝えるという、日本人とは違ったマインドを現地で直接肌で感じた経験をいかして、これからは日常生活でも、相手の考えを否定し、受け入れないということではなく、自分の意思を相手に伝え、周りの人にながされないようにしていきたいと思えます。

現地研修の思い出

1日目は、ホストファミリーに会い、夜ご飯に人生初のメキシコ料理を食べました。2日目はターゲットというショッピングセンターに行き、私がメイクが好きだと伝えていたので大型メイクショップに連れて行ってもらいました。そしてグレートモールというモールでギリシャ料理を食べ、3着洋服を購入しました。どの店も日本と規模が違く、全部見て回ったら一日中かかるほど大きかったです。その日の夜はピザを食べて、ソミソミという店でたい焼きを食べました。3日目は天気が良く、サンフランシスコに行きました。サンフランシスコは坂が多く、ゴールデンゲートブリッジがとても綺麗でした。昼ごはんはチャイニーズタウンに行き、中華を食べました。そして、ギルデリのチョコレートショップに行き、たくさんお土産を購入しました。4日目5日目の学校登校は体調が悪く、行けなくてとても残念でした。6日目は、サニーベールの名所をまわりました。特に印象に残っているのはスタンフォード大学です。大学の中をバスで移動するほど土地が大きく、教会が荘厳でした。最終日は、ホストファミリーとの別れが悲しかったです。この1週間の研修を通して学んだことはたくさんありますが、一番はたのしかったです。一生の思い出に残るような1週間になりました。



Vijayakar Family



Plan(計画)

学校登校では、日本とアメリカの学校生活の違いを体感したいです。そのために現地では、慣れていないことにも躊躇せず、飛び込んで行こうと思います。また、普段は人見知りなので、サニーベールで出会った人に積極的に話しかけることに挑戦したいです。そして、受け入れをしてくれたホストファミリーと仲を深め、お互いにとって思い出に残るホームステイになるようにしたいです。

Do(実行)

学校登校のはじめの方は、少し現地の生徒のパワフルさに圧倒されていました。しかし、沢山の生徒がフレンドリーに接してくれたので、徐々に「話したい!」という気持ちになりました。また、ホストファミリーと仲を深めるという目標は、日本に関することやアメリカに来て感じたことなどを話すことで達成でき、これからもずっと心に残る思い出になりました。

Check(評価)

現地の人に積極的に話しかける事が出来るようになったのは、沢山の人がフレンドリーに話しかけてくれた事や、人見知りなりに自分の心を開いて、様々なことを吸収しようと心掛けた事が理由だと思います。また、ホストファミリーとの仲を深められたのは、あたたかく迎えてくれた彼らのことをもっと知りたい、自分のことを知って欲しいという気持ちから、本当に色々な話をして、笑い合うことができたからだと思います。

Action(改善)

今回の経験で、日本の文化との違いを体感し、自分が今まで見ていた世界は本当に小さなものだったと感じました。そのため、これからの生活では、この経験を活かして多様な視点を持ち、視野を広げて物事を見ていきたいです。また、これからは更に世界中に関心を持ち、気になる事を調べたり、ニュースを見たりと自ら探求していこうと思います。

現地研修の思い出

今回の研修で特に印象に残った事を二つ紹介します。一つ目は、現地で出会った人のフレンドリーさです。研修前は自分の英語力にあまり自信がなく、現地の人と話す事に不安を感じていました。しかし、現地では沢山の人が私に興味を持ち、私の拙い英語に耳を傾けてくれました。彼らのオープンな心に触れ、相手に興味を持って接する事がどれだけ人を安心させるかを身を持って感じました。二つ目は、学校登校です。現地の生徒が実際に通う高校に行く事は、この研修ならではの貴重な経験でした。私自身、海外の学校教育に興味があり、研修前からこの登校を楽しみにしていました。多少はアメリカの学校生活についての知識はあったものの、実際に登校すると、やはり日本との違いに驚かされました。授業中にお菓子を食ったり、スマホを扱ったりと日本では考えられない事が現地では日常でした。また、他の生徒と意見を共有する事や協同して行う授業が多い事も印象的でした。そのような場面では、他の人の意見を聞き、新たな気付きを得ている所や、より良いものを作り出している所を見ることができ、なぜアメリカが様々な分野で発展しているのか、腑に落ちた気がします。今回の研修を通して、母語でない言語での対話の難しさを痛感するとともに、翻訳機では伝えられない感情もあると感じました。そのため、これからは更に英語の勉強に力を注ぎ、世界中の人々と自分の言葉で対話できるようにしたいです。

**Lim Family**

中学校 2年生

みやじま ゆい
宮嶋 優衣

Plan(計画)

私は、たくさんネイティブの発音に触れたいので、現地では、ホストファミリーや現地の人とたくさん会話して、ネイティブの早い発音にもついていけるようになりたいです。そのために、現地に行く前にもっと英語を勉強して、たくさん英単語を覚えることに取り組み、現地ですぐ多くの人とコミュニケーションをとれるようにしたいと思います。

Do(実行)

「ホストファミリーや現地の人とたくさん話す」ことを目標にしていました。サニーバールでは最初は翻訳を使って会話をしていましたが、たくさん会話をするにより、翻訳を使う回数が少なくなっていきました。またアメリカの学校でも自分から話しかけて会話することができました。しかし、自分にとって聞いたことや見たことのない単語が出てくると分からなくなってパニックになっていました。

Check(評価)

ホストファミリーや現地の人とたくさん話せたのは、分からないことがあったら「What is this?」と聞いて指差して聞いていたりしていたからだだと思います。また、ホストファミリーや現地の人聞き取りやすいようにゆっくり話してくれたからだだと思います。しかし自分にとって聞いたことや見たことのない単語が出てくると分からなくなっていたので、出発前に単語帳や英会話BOOKをもっと読むべきだったと思います。

Action(改善)

この経験でもっと英語を勉強して、英語を話せるようになりたいと思いました。私はこの研修に参加する前までは英語が嫌いでした。しかし、この研修で英語をしゃべることができたらもっといろいろな人と話せる、世界が広がることを実感し、英語が好きになりました。これからは学校の授業や英語の長文を読んでいて分からない単語があったら、辞書を使ったり、先生に聞いたりして積極的に英語を学んでいきたいです。

現地研修の思い出

私はこの一週間数えきれないほどの思い出ができました。その中で、一番心に残っているものを紹介します。

ホストファミリーと休日を過ごした時のことです。いろいろなところに行きましたが、この二日間とても印象に残っているのは遊園地「グレートアメリカ」でのことです。そこでは、もう一人の研修生とその研修生のホストファミリーとも過ごしました。私はジェットコースターがとても好きなので、グレートアメリカではたくさんのジェットコースターに乗りました。ジェットコースターは日本のよりとても速くあっという間に終わってしまいました。「次に何に乗る?」と話していて、目の前にドロップタワーという垂直落下するアトラクションがあったので「それに乗ろう」と言ったら、「私たちは怖いから二人で乗ってきて」と言われました。もう一人の研修生と乗って笑顔で帰ってくると「You are crazy.」と言われました。私は「そんなことない」と言ってみんなで笑いました。

私はホストファミリーとお別れするときに寂しくて泣いてしまいました。それと同時にまたホストファミリーに会いたいと思いました。また会うときにはもっと英語が喋れるようになって成長した姿を見せたいです。



Iwasaki Family



中学校 3年生

むらおか あきと
村岡 煌斗

Plan(計画)

私は学校登校を経験したいです。その理由は、サニーバールでの英語の授業の内容や、外国語を学んでいるのかが気になったからです。日本では国語の授業は漢字や古文などをしていいますがアメリカの英語の授業の内容がどうなっているのかが気になりました。また、日本では外国語として英語を学びますが、アメリカでは外国語は何を学ぶかが知りたくになりました。だから出発までにサニーバールの学校のことを予習したいです。

Do(実行)

私はアメリカでの学校登校を通して日本の学校よりもとても自由でびっくりしました。学校では英語を学んでいましたが外国語を学ぶことはなく学校外で学ぶ人がいるくらいでした。学校でよく使いそうな単語を予習したことである程度は言っていることは分かりましたが、分からないことも多くもっと勉強が必要だと感じました。

Check(評価)

Doができたのは行く前に英語を勉強したからだだと思います。しかし、簡単な英語ならわかりましたが数学などの英語は分からなかったからもっと勉強する必要があると思いました。アメリカの学校についてまだまだ知らなかったことがたくさんあったので学校についての予習をしていた方がいいなと感じました。

Action(改善)

今回の英語の勉強を頑張った経験をいかして学校の英語の勉強も頑張っていきたいと思います。また、ネイティブの早い発音をたくさん聞けたからそれをいかしてリスニングを磨きたいと思います。また、次にアメリカなどの外国に行くときの経験にしたいと思います。

現地研修の思い出

私がアメリカに行って一番驚いたことは食生活です。朝昼晩全とお肉が出ました。いつも朝はお米とみそ汁なので思っていたよりも胃の負担が大きかったです。だから、日本に帰って来て日本食のありがたみについて考えさせられました。一日目に行ったサンフランシスコでは、ゴールデンゲートブリッジやフィッシャーマンズワープなどに行きました。ゴールデンゲートブリッジの半分まで歩くこともでき、アルカトラズ島を見ることもできました。驚いたのは、ゴールデンゲートブリッジが日本の瀬戸大橋と姉妹橋だということです。私も知らなかったのですが、ゴールデンゲートブリッジのお土産屋さんの近くに石碑のようなものがありました。見てみると英語と日本語でゴールデンゲートブリッジが瀬戸大橋と姉妹橋と書かれておりとてもびっくりしました。フィッシャーマンズワープではアザラシを見ることができました。いつもはたくさんいるそうでしたが私が行ったときは一つの足場にそこにいたアザラシがほぼすべて固まっていてとてもかわいかったです。そのほかにも遊園地に行ったりボウリングに行ったりとても楽しかったです。私が思うことは飯塚市に住んでいてよかったということです。



Lee Family



中学校 3年生

もり れいね
森 玲音

Plan(計画)

私はホストファミリーや学校の生徒とたくさん話すことに挑戦したいです。そのために、出発までに日常会話で使える英単語や英熟語を覚えたり、会話練習したりすることに取り組みたいです。そしてサニーベールではそれを活かしてホストファミリーや生徒と楽しく会話したいと思っています。1週間しかないですが良い経験になると思うので精一杯頑張ります。

Do(実行)

私は現地の人とたくさん会話する事を目標としていましたが、ホストファミリーとは会話が続いても初対面の学校の生徒は緊張であまり話す事は出来ませんでした。でも名刺を配ると描いていたキャラクターについて触れてくれて会話が少し弾んだので持って行って良かったです。

Check(評価)

ホストファミリーとの会話が続いたのは3月から行くまで週2回英語だけで会話の練習をしたり、アメリカの映画を見たり英語のラジオを聞いたりした事が主な理由だと思います。しかし、その他にも単語や文法をもっと覚えていたら聞き返す事が減ってスムーズに会話が出来たと思います。

Action(改善)

今回の研修を通して恥ずかしがらずに質問したりする積極性がとても大切な事だと学びました。ホストマザーや高校のバディの子に質問を沢山しましたがとても丁寧に教えて頂き仲も深まったので積極的に質問して良かったと感じました。また質問した時に単語が足りなかったり、発音が悪くて伝わらなかったりした事もあったのでもっと英語力をつけようと感じました。

現地研修の思い出

今回の研修は一生の思い出になる1週間でした。アメリカに行くまではアメリカで1週間過ごすなんてと不安で仕方ありませんでした。しかしアメリカに着くとホストファミリーが暖かく歓迎してくれて安心しました。ホストファミリーと過ごす最初の土日は沢山の場所に連れて行ってもらいました。日本の倍以上の大きさのハンバーガーを食べたり、憧れだったゴールデンゲートブリッジを渡ったりと、とても楽しい時間を過ごしました。学校登校日は日本と全く違う学校生活でとても良い経験になりました。また沢山の友達が出来て楽しい2日間でした。一日研修では特にGoogleと日本の会社との差に驚愕しました。アメリカでは座っているだけでは新しいアイデアが浮かばないということで日本では有り得ないピアノやビリヤードなどが設置していることにとっても驚きました。さすが、シリコンバレーだと感じました。最終日はホストファミリーと離れるのが本当に悲しくつい涙がこぼれました。今回の研修を通していつかアメリカで働いてみたいと感じました。ホストファミリーと出会えて本当に良かったです。



Civelli Family



中学校 3年生

わたなべ なつき
渡邊 夏希

Plan(計画)

私のサニーベールでの目標は自分の英語力を試して学ぶことです。ネイティブの英語についていける自信は全くないです。だからこそ、出発前までに英単語や英文を覚え、自分が知っている限りの言葉を最大限に活かして積極的に会話をしたいと思います。また、ネイティブがよく使っている言葉をマネしたり、気になる言葉があったら聞いたりして現地でしか出来ないような語学学習に取り組みたいです。

Do(実行)

英語力を試して学ぶという目標を立てていました。ホストファミリーや学校の人たちに自分から質問したり話しかけたりすることができました。しかし、何度も聞き返したり、翻訳機能を使ったりすることがあり、会話を続けることはあまりできませんでした。

Check(評価)

自分から話しかけることができたのは、質問するときに使えるフレーズを覚えておいたからだと思います。しかし、会話を続けることができなかったのは、ネイティブのスピードについていけなかったからだと思います。出発前にリスニングを聞き、英単語をもっと勉強しておけば良かったなと思います。

Action(改善)

アメリカに行ったことにより、日本だけでなく海外でも働きたいという思いがよりいっそう強くなりました。それに、もっと海外の人と交流をしたいので英語をたくさん勉強しようと思います。また、どんなに不安なことや心配なことがあっても、立ち止まらずポジティブにいきましょうとも思えました。

現地研修の思い出

アメリカで過ごした1週間のすべてが最高の思い出です。

まず、空港からサニーベールへ移動しているときに、バスからNASAやMicrosoftなどの多くの有名な会社が見えました。シリコンバレーをこの目で見て確かめることができとても刺激的でした。

週末、ホストファミリーに連れて行ってもらった遊園地のアトラクションは今まで自分が乗ったのとは比べものにならないくらい怖くて楽しかったです。いちばん叫びました。次の日に行ったサンフランシスコは映画の中のように、街並みが素敵でした。そして移動中はホストシスターたちに指スマを教えました。説明をするのが少し難しかったけど英語バージョンも面白かったです。

この研修で1番楽しみにしていた高校には、年齢の壁がほとんどなく、学年がバラバラの生徒が同じ授業を受けていて驚きました。それに、生徒が1人1台パソコンを持っていて、ノートよりもパソコンを使用する授業が多く、デジタル化が進んでいるなど感じました。お昼ご飯の時間は学校外に出て購入することもでき驚きました。他にもテーピングを巻く授業や陶芸の授業など、めずらしい実技科目もありました。このような日本と違うアメリカの学校に私はとても興味を持ちました！

この研修に参加できて本当に良かったと思っています。これからは、海外でも働きたいという自分の夢を実現させるために、もっと英語の勉強を頑張ります！



Grisel Family



